

2007年 9 月 23 日実施

平成19年度（第37回）
情報処理検定試験
〈プログラミング部門〉
第2級 試験問題

注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 試験問題は 8 ページあります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入します。
4. 【1】 【2】 【3】 【4】 は共通問題です。全員解答してください。
5. 【5】 【6】 【7】 の問題は、COBOL・イベント駆動型 BASICのどちらか 1 つを選択し、解答用紙の選択言語を で囲んでください。
6. 電卓などの計算用具は使用できません。
7. 筆記用具などの物品の貸借はできません。
8. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
9. 制限時間は50分です。

【1】 次の説明文に最も適した答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

1. 2進数1010と110の和を表す10進数。
2. ファイルに記録されたデータの内容を保ったまま、容量を小さくすること。
3. CDよりも大容量で、読み取り専用型、追記型、書き換え型の媒体が利用できる光ディスク装置。
4. 他人のユーザIDやパスワードを無断で利用し、サーバなどに接続すること。
5. フロッピーディスクなどのディスクの記録面にある同心円状の記憶領域。

解答群

ア. 解凍	イ. セクタ	ウ. 16	エ. 圧縮	オ. 不正アクセス
カ. 18	キ. DVD装置	ク. トラック	ケ. 磁気ディスク装置	コ. セキュリティホール

【2】 次のA群の語句に最も関係の深い説明文をB群から選び、記号で答えなさい。

- | A群 | B群 |
|-------------|---|
| 1. MP3 | ア. 試用期間中は無料で利用できるが、その期間が過ぎたあとも利用を継続する場合、有料となるソフトウェア。 |
| 2. アセンブラ | イ. 文字データで構成されたファイル。多くのソフトウェアで利用することができる。 |
| 3. テキストファイル | ウ. 音楽などをCDと同等の音質を維持したまま、元データの約11分の1程度で、記録することができるファイル形式。 |
| 4. TCP/IP | エ. 利用期間に関係なく、無料で利用できるソフトウェア。 |
| 5. シェアウェア | オ. 文字として読み出すことのできない2進数のコードで構成されているファイル。 |
| | カ. COBOLやC言語などで記述されたプログラムを、コンピュータが理解できる言語に、一括変換する言語プロセッサ。 |
| | キ. インターネットにおいて、標準的に使われているプロトコル。 |
| | ク. 一般の加入者電話回線を利用して、高速データ通信を可能にする非対称型の通信方式。 |
| | ケ. 電子楽器を制御するための規格で、音楽情報を保存したファイル形式。 |
| | コ. 機械語にほぼ1対1で対応したプログラム言語で作成したプログラムを、実行用に変換する言語プロセッサ。 |

【3】 次の説明文に最も適した答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。

1. ネットワーク上で、IPアドレスとドメイン名を相互に対応させるしくみ。

ア. DNS	イ. EC	ウ. HTML
--------	-------	---------
2. 電子メールの本文とともに送信する文書や写真、音楽などのファイル。

ア. PPP	イ. 添付ファイル	ウ. Bcc
--------	-----------	--------
3. 創作された音楽や文章などを、他人が無断で使用できないように保護する権利。

ア. 産業財産権	イ. 著作権	ウ. 肖像権
----------	--------	--------
4. 内容が解読できないように加工されたデータを、元のデータに戻すこと。

ア. 暗号化	イ. 認証	ウ. 復号化
--------	-------	--------
5. ハードウェアとソフトウェアを管理し、コンピュータを効率良く動作させるためのプログラム。

ア. 制御プログラム	イ. サブディレクトリ	ウ. サービスプログラム
------------	-------------	--------------

【4】 次の各問いに答えなさい。

- 問1. 次の説明文に最も適した答えを解答群から選び、記号で答えなさい。
- (1) プログラム言語で作成された、機械語に翻訳される前のプログラム。
 - (2) 出力形式を設計するために使用する用紙。
 - (3) 加算したあとに除算するべきところを、除算したあとに加算した誤り。

解答群

ア. フローチャート

イ. 原始プログラム

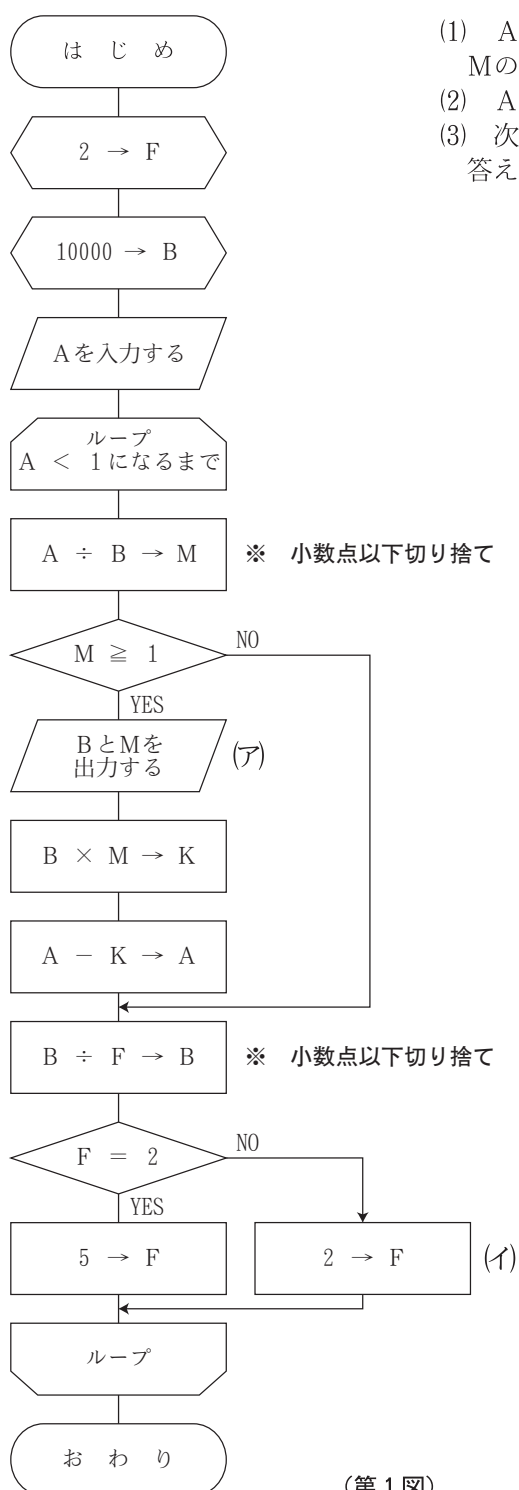
ウ. 目的プログラム

エ. 論理エラー

オ. スペースングチャート

カ. 文法エラー

- 問2. 第1図の流れ図にしたがって処理するとき、次の(1)~(3)に答えなさい。



- (1) Aの値が19586のとき、(ア)を3回目に実行したときに出力されるMの値はいくつか答えなさい。
- (2) Aの値が23500のとき、(イ)は何回実行されるか答えなさい。
- (3) 次の説明文のうち正しいものはどれか、ア～ウから選び、記号で答えなさい。

- ア. Bの値は2分の1ずつ減少する。
- イ. Fの値は2と5を交互に繰り返す。
- ウ. Kの値は2倍ずつ増加する。

(第1図)

[COBOL選択者のための問題]

2007.09 2-③

【5】 第1図のようなある県の市区町村別ブロードバンドサービス契約数ファイルを読み、処理条件にしたがって第2図のように印字する。プログラムの空欄にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

入力形式

(ファイル名：BB-F, レコード名：BB-R)

市区町村 (K-AREA) ×～×	ケーブルTV (CT) ××××××	ADSL (DS) ××××××	光ファイバ (FT) ××××××
-------------------------	--------------------------	------------------------	-------------------------

(第1図)

処理条件

- 第1図のファイルを読み、第2図のように市区町村から総契約数までを印字する。
- 総契約数は、ケーブルTVとADSLと光ファイバの契約数の合計である。
- ファイルを読み終えたあと、総契約数の平均を求めて印字する。
- 最後に、総契約数の最も多い市区町村を印字して処理を終了する。ただし、最も多い市区町村が複数ある場合は、先に記録されているものを優先する。
- 入力データにエラーはないものとする。

出力形式

(ファイル名：BBLIST-F, レコード名：BBLIST-R)

(市区町村別ブロードバンドサービス契約数一覧表)				
(市区町村)	(ケーブルTV)	(ADSL)	(光ファイバ)	(総契約数)
〇〇市	3,951	34,274	9,353	47,578
□□市	2,961	25,684	7,009	35,654
△△郡▽▽町	234	2,627	717	3,578
◇◇郡◎◎村	303	2,026	553	2,882
			(平均)	10,764
(総契約数の最も多い市区町村)				
〇〇市				

(第2図)

解答群

- ア. KEN + 1
- イ. CT + DS + FT
- ウ. SOKSU > MAXSU
- エ. SOKSU < MAXSU
- オ. MAXSU TO MAX-R
- カ. MAXAREA TO MX-AREA
- キ. SOKSU
- ク. TOTAL
- ケ. COMPUTE HEIKIN = TOTAL / 3
- コ. COMPUTE HEIKIN = TOTAL / KEN

WORKING-STORAGE SECTION.

```

01 E-FLG          PIC X(03).
01 SOKSU          PIC 9(07).
01 TOTAL          PIC 9(09).
01 KEN            PIC 9(02).
01 HEIKIN         PIC 9(07).
01 MAXSU          PIC 9(07).
01 MAXAREA        PIC X(14).
01 MEISAI-R.
    02 M-AREA     PIC X(14).
    02            PIC X(03) VALUE SPACE.
    02 M-CT       PIC ZZZ,ZZ9.
    02            PIC X(03) VALUE SPACE.
    02 M-DS       PIC ZZZ,ZZ9.
    02            PIC X(03) VALUE SPACE.
    02 M-FT       PIC ZZZ,ZZ9.
    02            PIC X(01) VALUE SPACE.
    02 M-SOKSU    PIC Z,ZZZ,ZZ9.
01 HEIKIN-R.
    02            PIC X(45) VALUE SPACE.
    02 H-HEIKIN  PIC Z,ZZZ,ZZ9.
01 MAX-R.
    02 MX-AREA   PIC X(14).
    
```

PROCEDURE DIVISION.

SYOR1.

```

OPEN INPUT BB-F OUTPUT BBLIST-F
MOVE "OFF" TO E-FLG
INITIALIZE (1) KEN MAXSU
PERFORM UNTIL E-FLG = "ON "
    READ BB-F
    AT END
        MOVE "ON " TO E-FLG
    NOT AT END
        COMPUTE SOKSU = CT + DS + FT
        IF (2)
            THEN MOVE SOKSU TO MAXSU
            MOVE K-AREA TO MAXAREA
        END-IF
        MOVE K-AREA TO M-AREA
        MOVE CT TO M-CT
        MOVE DS TO M-DS
        MOVE FT TO M-FT
        MOVE SOKSU TO M-SOKSU
        WRITE BBLIST-R FROM MEISAI-R AFTER 1
        COMPUTE TOTAL = TOTAL + SOKSU
        COMPUTE KEN = (3)
    END-READ
END-PERFORM
(4)
MOVE HEIKIN TO H-HEIKIN
WRITE BBLIST-R FROM HEIKIN-R AFTER 1
MOVE (5)
WRITE BBLIST-R FROM MAX-R AFTER 1
CLOSE BB-F BBLIST-F
STOP RUN.
    
```

[COBOL選択者のための問題]

【6】 第1図のようなあるプロサッカーリーグの入場者数を記録したファイルを読み、処理条件にしたがって第2図のように印字する。第5図の流れ図(1)~(5)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

入力形式

月日	主催 チームコード	対戦 チームコード	入場者数
(TUKIHI)	(SYUSAI)	(TAISEN)	(NYUJOU)
××××	××	××	×××××

(第1図)

処理条件

(1) 第3図のテーブル KODO-T にチームコード、TIMU-T にチーム名、KYOU-T に主催チームの競技場名が記憶されている。なお、第3図の各テーブルはそれぞれ添字で対応している。

テーブル KODO-T

KODO	CS	VS	~	AF
	(1)	(2)	~	(12)

テーブル TIMU-T

TIMU	札幌	仙台	~	福岡
	(1)	(2)	~	(12)

テーブル KYOU-T

KYOU	札幌競技場	仙台スタジアム	~	福岡の森競技場
	(1)	(2)	~	(12)

(第3図)

- (2) 第1図の主催チームコード、対戦チームコードをもとに、第3図のテーブル KODO-T を探索する。該当する添字を利用して、それぞれのチーム名、および使用した競技場名を、第3図のテーブル TIMU-T、KYOU-T より求め、印字する。なお、競技場はつねに主催チームの競技場を使用する。
- (3) 入場者数2,000人につき「*」1つで表すグラフを、第4図のテーブル GURAFU-T を利用して作成し、第2図のように印字する。なお、入場者数が20,000人を超えることはないものとする。

テーブル GURAFU-T

GURAFU										
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)

(第4図)

- (4) ファイルを読み終えたあと、合計入場者数を印字し、処理を終了する。
- (5) 入力データにエラーはないものとする。

解答群

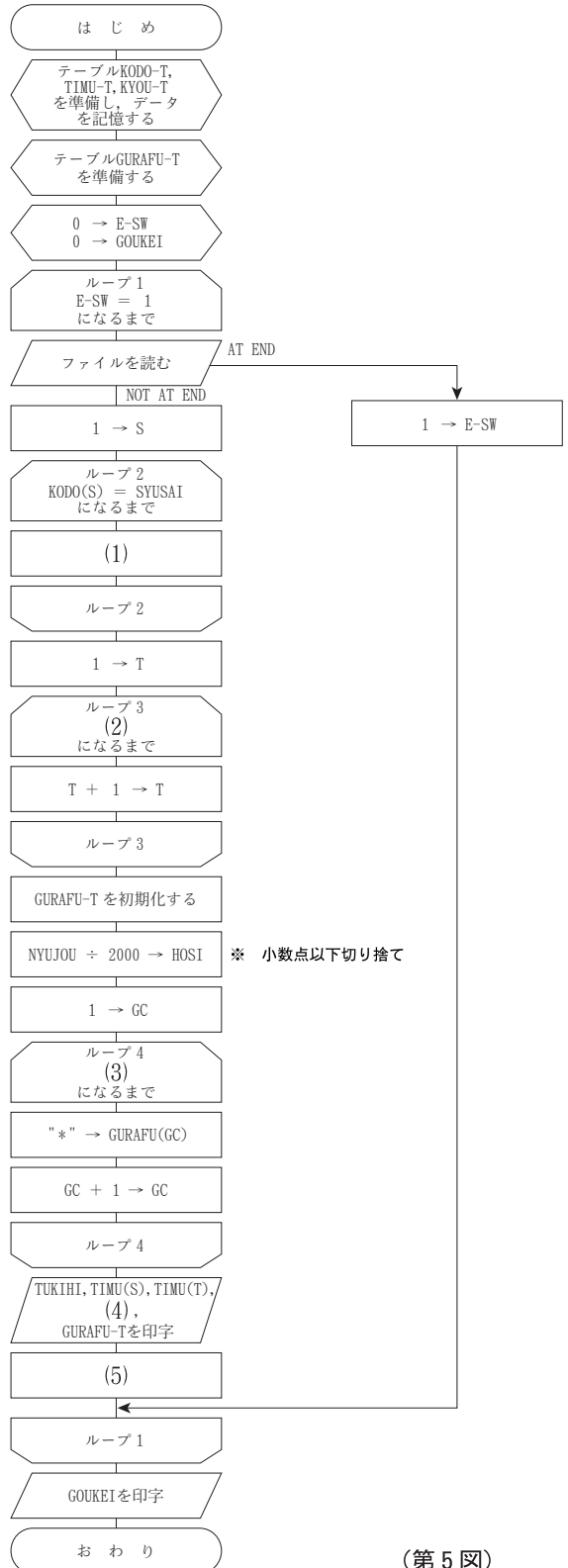
- ア. KYOU(S)
- イ. KODO(T) = SYUSAI
- ウ. GC > HOSI
- エ. S + GC → T
- オ. KODO(T) = TAISEN
- カ. GOUKEI + NYUJOU → GOUKEI
- キ. GC < HOSI
- ク. KYOU(T)
- ケ. GOUKEI + HOSI → GOUKEI
- コ. S + 1 → S

出力形式

(入場者数一覧表)

(月日)	(主催チーム)	(対戦チーム)	(競技場名)	(入場者数)
0908	千葉	(対) 大阪	千葉アリーナ	*****
0908	鹿島	(対) 神戸	鹿島ドーム	****
}	}	}	}	}
0928	福岡	(対) 札幌	福岡の森競技場	*****
			(合計入場者数)	241,217

(第2図)



(第5図)

[COBOL選択者のための問題]

2007.09 2-⑤

【7】 第1図のようなある弁当店の注文データを記録したファイルを読み、処理条件にしたがって第2図のように印字するプログラムの空欄をうめなさい。

入力形式

(ファイル名: TYU-FILE, レコード名: TYU-REC)

注文番号 (T-BAN) ××	弁当コード (T-BK) ××	注文数 (T-TYU) ××
-----------------------	-----------------------	----------------------

(第1図)

処理条件

(1) 弁当コードは、1～10までの10種類ある。弁当コードを添字として、第3図のテーブル HIN-TBL に品名、テーブル TANKA-TBL に単価が記憶されている。

テーブル HIN-TBL

HIN	のり	とんかつ	～	からあげ	そばろ
	(1)	(2)	～	(9)	(10)

テーブル TANKA-TBL

TNK	280	350	～	350	300
	(1)	(2)	～	(9)	(10)

(第3図)

(2) 第1図のファイルを読み、第4図のテーブル TYU-TBL に、弁当コードごとの注文数計を集計する。なお、第3図と第4図の各テーブルは、それぞれ添字で対応している。

テーブル TYU-TBL

TYU			～		
	(1)	(2)	～	(9)	(10)

(第4図)

(3) ファイルを読み終えたあと、注文数計の割合(%)を求め、割合(%)が5(%)以下の場合、備考に「*」を印字する。なお、割合(%)は、次の計算式で求める。

$$\text{割合(}\%) = \text{注文数計} \times 100 \div \text{注文数合計}$$

(4) 最後に、注文数合計と金額合計を印字して処理を終了する。

(5) 入力データにエラーはないものとする。

WORKING-STORAGE SECTION.

```

01 FLG          PIC 9(01).
01 S            PIC 9(02).
01 KIN          PIC 9(06).
01 SUKEI        PIC 9(04).
01 KINKEI       PIC 9(07).
01 WARI         PIC 9(03).
}
01 TYU-TBL.
02 TYU          PIC 9(03) OCCURS 10.
01 MEISAI-G.
02              PIC X(02) VALUE SPACE.
02 M-MEI        PIC X(08).
02              PIC X(10) VALUE SPACE.
02 M-TYU        PIC ZZ9.
02              PIC X(07) VALUE SPACE.
02 M-TNK        PIC ZZ9.
02              PIC X(07) VALUE SPACE.
02 M-KIN        PIC ZZZ, ZZ9.
02              PIC X(06) VALUE SPACE.
02 M-WARI       PIC ZZ9.
02              PIC X(06) VALUE SPACE.
02 M-BIKO       PIC X(01).
01 GOUKEI-G.
02              PIC X(18) VALUE SPACE.
02 G-SU         PIC Z, ZZ9.
02              PIC X(15) VALUE SPACE.
02 G-KIN        PIC Z, ZZZ, ZZ9.
    
```

出力形式

(ファイル名: BENTO-FILE, レコード名: BENTO-REC)

(弁当注文集計表)				
(品名)	(注文数計)	(単価)	(金額計)	(割合(%) (備考))
のり	135	280	37,800	23
とんかつ	20	350	7,000	3 *
}	}	}	}	}
そばろ	68	300	20,400	11
(注文数合計)	580	(金額合計)	150,700	

(第2図)

PROCEDURE DIVISION.

P1. OPEN INPUT TYU-FILE OUTPUT BENTO-FILE

INITIALIZE TYU-TBL (ア) KINKEI FLG

PERFORM UNTIL FLG = 1

READ TYU-FILE

AT END

MOVE 1 TO FLG

NOT AT END

COMPUTE (イ)

COMPUTE SUKEI = SUKEI + T-TYU

END-READ

END-PERFORM

MOVE 1 TO S

PERFORM UNTIL (ウ)

COMPUTE KIN = TNK(S) * TYU(S)

COMPUTE WARI = TYU(S) * 100 / SUKEI

MOVE HIN(S) TO M-MEI

MOVE TYU(S) TO M-TYU

MOVE TNK(S) TO M-TNK

MOVE KIN TO M-KIN

MOVE WARI TO M-WARI

IF (エ)

THEN MOVE "*" TO M-BIKO

ELSE MOVE " " TO M-BIKO

END-IF

WRITE BENTO-REC FROM MEISAI-G AFTER 1

COMPUTE KINKEI = KINKEI + KIN

COMPUTE S = S + 1

END-PERFORM

MOVE SUKEI TO G-SU

MOVE (オ)

WRITE BENTO-REC FROM GOUKEI-G AFTER 1

CLOSE TYU-FILE BENTO-FILE

STOP RUN.

[イベント駆動型BASIC選択者のための問題]

2007.09 2-⑥

【5】 ある県の市区町村別ブロードバンドサービス契約数データを入力し、処理条件にしたがって第2図の実行形式のように表示する。プログラムの空欄にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

フォーム

ブロードバンドサービス契約数

データ入力

市区町村

ケーブルTV

ADSL

光ファイバ

総契約数

Command1

総契約数の平均

総契約数が最も多い市区町村

Command3

(第1図)

実行形式

ブロードバンドサービス契約数

データ入力

市区町村

ケーブルTV

ADSL

光ファイバ

総契約数

総契約数の平均

総契約数が最も多い市区町村

(第2図)

処理条件

- (1) 第2図のデータ入力欄のように、市区町村から光ファイバまでのデータを入力し、「計算」ボタンをクリックすると、次の処理を行う。
 - ① ケーブルTVとADSLと光ファイバの契約数の合計を総契約数として、Label1に表示する。
 - ② 総契約数の平均は、次の計算式で求め、Label2に表示する。

$$\text{総契約数の平均} = \text{総契約数の合計} \div \text{データ入力の数}$$
 - ③ 総契約数が最も多い市区町村を、Label3に表示する。ただし、最も多い市区町村が複数ある場合は、先に入力されたものを優先する。
- (2) 表示に関する設定は、第2図の実行形式のとおりとする。また、入力データにエラーはなく、操作は正常に行われるものとする。

解答群

- ア. Total / Ken
- イ. Ken / Total
- ウ. Ds = Val(Text3.Text)
- エ. Ken = Val(Text3.Text)
- オ. MaxSu
- カ. Area
- キ. SokSu = 0
- ク. MaxSu = 0
- ケ. SokSu < MaxSu
- コ. SokSu > MaxSu

```
Option Explicit
Dim Total, MaxSu As Long
Dim Ken As Integer
```

```
Private Sub Form_Load()
    Call Syokyo
    Label2.Caption = ""
    Label3.Caption = ""
    Total = 0
    Ken = 0
    (1)
End Sub
```

```
Private Sub Command1_Click() (計算)
    Dim Area As String
    Dim Ct, Ds, Ft, SokSu, Heikin As Long
    Area = Text1.Text
    Ct = Val(Text2.Text)
    (2)
    Ft = Val(Text4.Text)
    SokSu = Ct + Ds + Ft
    Label1.Caption = Format(SokSu, "###,##0")
    Total = Total + SokSu
    Ken = Ken + 1
    Heikin = (3)
    Label2.Caption = Format(Heikin, "###,##0")
    If (4) Then
        MaxSu = SokSu
        Label3.Caption = (5)
    End If
End Sub
```

```
Private Sub Command2_Click() (クリア)
    Call Syokyo
End Sub
```

```
Private Sub Command3_Click() (終了)
    End
End Sub
```

```
Private Sub Syokyo() (消去)
    Text1.Text = ""
    Text2.Text = ""
    Text3.Text = ""
    Text4.Text = ""
    Label1.Caption = ""
End Sub
```

[イベント駆動型BASIC選択者のための問題]

2007.09 2-⑦

【6】 第1図のようなあるプロサッカーリーグの入場者数を記録したデータを読み、処理条件にしたがって第2図のように表示する。第4図の流れ図(1)~(5)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

入力形式

月日 (Tukihi) ××××	主催 チームコード (Syusai) ××	対戦 チームコード (Taisen) ××	入場者数 (Nyujou) ×××××
------------------------	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------

(第1図)

処理条件

(1) フォームロード時に、第3図の配列 Kodo にチームコード、Timu にチーム名、Kyou に主催チームの競技場名を記憶する。なお、第3図の各配列はそれぞれ添字で対応している。

配列

Kodo	CS (1)	VS (2)	~ ~	AF (12)
Timu	札幌 (1)	仙台 (2)	~ ~	福岡 (12)
Kyou	札幌競技場 (1)	仙台スタジアム (2)	~ ~	福岡の森競技場 (12)

(第3図)

(2) 「表示」ボタンをクリックすると、第1図の主催チームコード、対戦チームコードをもとに、第3図の配列 Kodo を探索する。該当する添字を利用して、それぞれのチーム名、および使用した競技場名を、第3図の配列 Timu, Kyou より求め、表示する。なお、競技場はつねに主催チームの競技場を使用する。

(3) データを読み終えたあと、合計入場者数と1試合あたりの平均入場者数を表示し、処理を終了する。

(4) 入力データにエラーはなく、操作は正常に行われるものとする。

実行形式

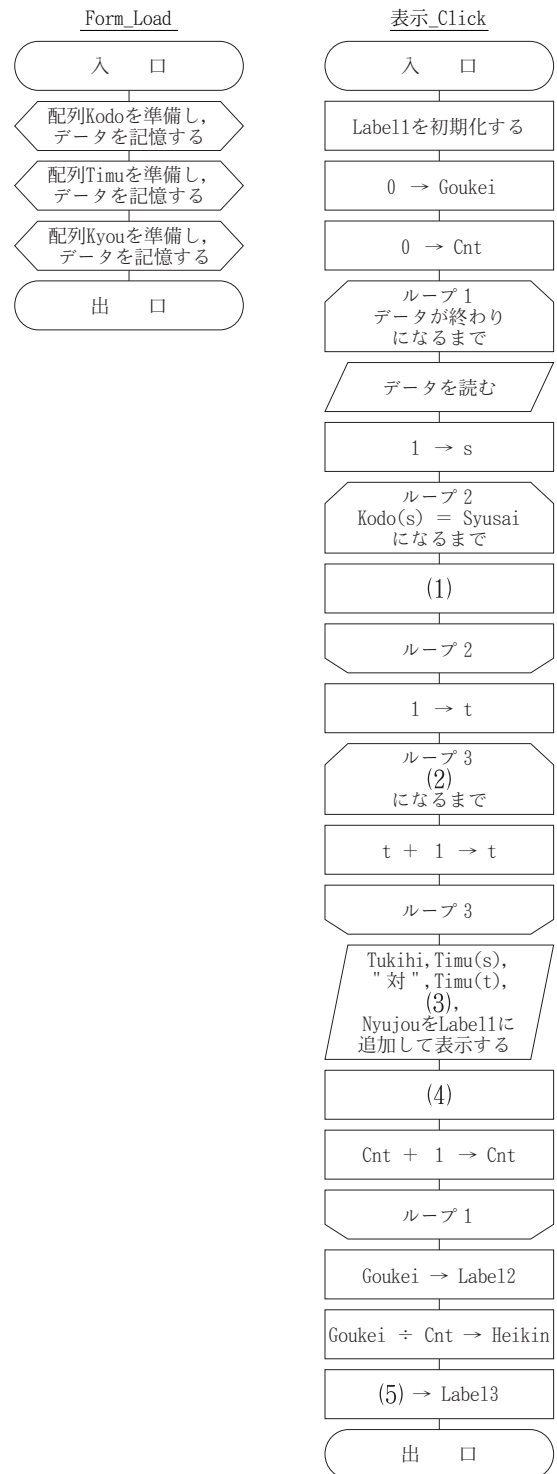
入場者数一覧表				
月日	主催チーム	対戦チーム	競技場名	入場者数
0908	千葉	対 大阪	千葉アリーナ	19,238
0908	鹿島	対 神戸	鹿島ドーム	9,312
~	~	~	~	~
0928	福岡	対 札幌	福岡の森競技場	13,863

(Label1)

合計入場者数: 241,217 (Label2)

平均入場者数: 11,024 (Label3)

(第2図)



(第4図)

解答群

- ア. Goukei + Nyujou → Goukei
- イ. Kodo(t) = Syusai
- ウ. Kyou(s)
- エ. s + Cnt → t
- オ. Kodo(t) = Taisen
- カ. Heikin
- キ. Goukei + Cnt → Goukei
- ク. Kyou(t)
- ケ. Nyujou
- コ. s + 1 → s

【7】 ある弁当店の注文データを入力し、処理条件にしたがって第2図の実行形式のように表示するプログラムの空欄をうめなさい。

フォーム

(第1図)

実行形式

(第2図)

処理条件

(1) フォームロード時に、第3図の配列 Hin に品名、配列 Tnk に単価を記憶し、Label1とLabel2に表示する。なお、弁当コードは1～10まであり、配列の添字と対応している。

配列

Hin	のり	とんかつ	～	からあげ	そばろ
	(1)	(2)	～	(9)	(10)

配列

Tnk	280	350	～	350	300
	(1)	(2)	～	(9)	(10)

(第3図)

(2) 第2図のように注文番号、弁当コード、注文数を入力し、「集計」ボタンをクリックすると、第4図の配列 Tyu に、弁当コードごとの注文数計を集計する。なお、第3図と第4図の各配列は、それぞれ添字で対応している。

配列

Tyu			～		
	(1)	(2)	～	(9)	(10)

(第4図)

(3) 注文数計の割合(%)を求め、割合(%)が5(%)以下の場合、備考に「*」を表示する。なお、割合(%)は次の計算式で求める。

$$\text{割合(\%)} = \text{注文数計} \times 100 \div \text{注文数計の合計}$$

(4) Label17に注文数計の合計、Label18に金額計の合計を表示する。

(5) 表示に関する設定は、第2図の実行形式のとおりとする。また、入力データにエラーはなく、操作は正常に行われるものとする。

```
Option Explicit
Dim Tnk(1 To 10) As Long
Dim Tyu(1 To 10) As Long
Dim g, SuKei As Integer

Private Sub Syokyo() (消去)
    Text1.Text = ""
    Text2.Text = ""
    Text3.Text = ""
    Label3.Caption = ""
    Label4.Caption = ""
    Label5.Caption = ""
    Label6.Caption = ""
    Label7.Caption = ""
    Label8.Caption = ""
End Sub
```

```
Private Sub Form_Load()
    Dim Hin(1 To 10) As String
    Hin(1) = "のり"
    Hin(10) = "そばろ"
    Tnk(1) = 280
    Tnk(10) = 300
    (ア) = 0
    Call Syokyo
    Label1.Caption = ""
    Label2.Caption = ""
    For g = 1 To 10
        Tyu(g) = 0
        Label1.Caption = Label1.Caption & _
            Hin(g) & _
            Chr(13) & Chr(10)
        Label2.Caption = Label2.Caption & _
            Format(Tnk(g), "#0") & _
            Chr(13) & Chr(10)
    Next g
End Sub

Private Sub Command1_Click() (集計)
    Dim Ban, BenKodo, TyuSu, Wari As Integer
    Dim Kin, KinKei As Long
    Dim Biko As String
    Ban = Val(Text1.Text)
    BenKodo = Val(Text2.Text)
    TyuSu = Val(Text3.Text)
    (イ)
    SuKei = SuKei + TyuSu
    KinKei = 0
    Call Syokyo
    g = 1
    Do Until (ウ)
        Kin = Tnk(g) * Tyu(g)
        Wari = Tyu(g) * 100 / SuKei
        Label3.Caption = Label3.Caption & _
            Format(Tyu(g), "#0") & _
            Chr(13) & Chr(10)
        Label4.Caption = Label4.Caption & _
            Format(Kin, "###,##0") & _
            Chr(13) & Chr(10)
        Label5.Caption = Label5.Caption & _
            Format(Wari, "#0") & _
            Chr(13) & Chr(10)
        If (エ) Then
            Biko = "*"
        Else
            Biko = ""
        End If
        Label6.Caption = Label6.Caption & _
            Biko & _
            Chr(13) & Chr(10)
        KinKei = KinKei + Kin
        g = g + 1
    Loop
    Label7.Caption = Format(SuKei, "#,##0")
    Label8.Caption = Format((オ), "#,###,##0")
End Sub

Private Sub Command2_Click() (終了)
End Sub
```

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

平成19年度 (第37回) 情報処理検定試験プログラミング部門 第2級

解 答 用 紙

【1】

1	2	3	4	5

【2】

1	2	3	4	5

【3】

1	2	3	4	5

【4】

問 1			問 2		
(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)
				回	

小 計

..... [COBOL] ・ [イベント駆動型BASIC]

【5】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

【6】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

【7】

(ア)	
(イ)	
(ウ)	
(エ)	
(オ)	

試験場校名	受験番号	選 択 言 語	
		COBOL	イベント駆動型 BASIC

小 計

合 計

選択言語を で囲むこと

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

平成19年度 (第37回) 情報処理検定試験プログラミング部門 第2級
審査基準

【1】

1	2	3	4	5
ウ	エ	キ	オ	ク

各2点
計10点

【2】

1	2	3	4	5
ウ	コ	イ	キ	ア

各2点
計10点

【3】

1	2	3	4	5
ア	イ	イ	ウ	ア

各2点
計10点

【4】

問1			問2		
(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)
イ	オ	エ	4	2回	イ

問1各2点
問2各3点
計15点

小計
45

..... [COBOL]

【5】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
ク	ウ	ア	コ	カ

各3点
計15点

【6】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
コ	オ	ウ	ア	カ

各4点
計20点

【7】

(ア)	S U K E I
(イ)	T Y U (T - B K) = T Y U (T - B K) + T - T Y U
(ウ)	S > 1 0
(エ)	W A R I < = 5
(オ)	K I N K E I T O G - K I N

各4点 計20点

試験場校名	受験番号	選択言語
		COBOL イベント駆動型 BASIC

選択言語を で囲むこと

小計
55

合計
100

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

平成19年度 (第37回) 情報処理検定試験プログラミング部門 第2級
審査基準

【1】

1	2	3	4	5
ウ	エ	キ	オ	ク

各2点
計10点

【2】

1	2	3	4	5
ウ	コ	イ	キ	ア

各2点
計10点

【3】

1	2	3	4	5
ア	イ	イ	ウ	ア

各2点
計10点

【4】

問1			問2		
(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)
イ	オ	エ	4	2回	イ

問1各2点
問2各3点
計15点

小計
45

〔イベント駆動型BASIC〕

【5】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
ク	ウ	ア	コ	カ

各3点
計15点

【6】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
コ	オ	ウ	ア	カ

各4点
計20点

【7】

(ア)	S u K e i
(イ)	T y u (B e n K o d o) = T y u (B e n K o d o) + T y u S u
(ウ)	g > 1 0
(エ)	W a r i < = 5
(オ)	K i n K e i

(注) 大文字, 小文字および空白は問わない。

各4点 計20点

試験場校名	受験番号	選択言語
		COBOL イベント駆動型 BASIC

選択言語を で囲むこと

小計
55

合計
100